

重点戦略評価シート

重点戦略 3 まちの活性化と知名度アップ

目的	本市には牛久沼に代表される豊かな自然、広大な農地、まちを支えてきた商工業、多彩な歴史や文化、流通経済大学など多くの地域資源がある。 これらの地域資源の活用を基本に、地域活性化と知名度の向上を図る。
重点戦略に位置付ける基本目標(まちづくり宣言)	基本目標(まちづくり宣言)
	6. 地域の力を活かした、地域が輝くまちづくり
	7. 元気を生み出す活力ある産業が育つまちづくり
	8. 大学のあるまちのメリットを活かした特色あるまちづくり
	9. 環境先進都市を目指したまちづくり

【評価結果】

1. まちづくり宣言ごと評価結果及び重点戦略総括評価結果

まちづくり宣言	主要事業名	主要事業の評価	点数	まちづくり宣言ごとの評価					重点戦略総括評価	
				順調	概ね順調	遅れている	見直しが必要	満点に対する割合 合計点数÷満点		宣言評価
6	グリーンツーリズム・アグリツーリズムの展開	概ね順調	3	1	4	1	0	75.00%	B	B 概ね順調
	道の駅の設定	順調	4							
	牛久沼の有効活用	概ね順調	3							
	まちの探訪モデルコースの設定	概ね順調	3							
	フィルムコミッションの推進	概ね順調	3							
	龍ヶ崎ブランドアクションプランの策定・実行	遅れている	2							
7	農産品の龍ヶ崎ブランド認定制度の構築	概ね順調	3	1	6	0	1	71.88%	B	
	エコファーマーの推進	見直しが必要	1							
	直売の場の拡大	概ね順調	3							
	農業体験の拡大	概ね順調	3							
	新たな商業拠点の形成	概ね順調	3							
	企業誘致の推進	概ね順調	3							
	既存企業の支援	順調	4							
	企業者支援	概ね順調	3							
8	龍・流連携事業に関する情報の発信	概ね順調	3	2	3	2	0	75.00%	B	
	市民大学講座の充実	順調	4							
	大学運動部のバックアップ	順調	4							
	学生割引サービスの拡大	遅れている	2							
	大学国際観光学科との連携	概ね順調	3							
	保育分野での連携	概ね順調	3							
	企業等との連携体制の構築	遅れている	2							
9	自然エネルギーの利用促進	順調	4	2	3	1	0	79.17%	B	
	高効率照明(LED)の普及促進	順調	4							
	バイオマス利用の拡大	概ね順調	3							
	生ごみ減量の推進	遅れている	2							
	地域リサイクル事業の充実	概ね順調	3							
	クリーンプロジェクト	概ね順調	3							

2. 重点戦略 取組状況

【総括】
まちの活性化と知名度アップを目指し、自然環境や歴史・文化・産業といった地域資源を活かした各種施策・事業の展開、環境先進都市に向けた施策・事業を展開し、全27事業のうち22事業において「順調」若しくは「概ね順調」、5事業において「遅れている」もしくは「見直しが必要」の評価としている。
優先プロジェクトでもある自然エネルギーの利用促進の取組や高効率照明(LED)の普及促進の取組において、補助金制度の運用や意識啓発・周知PR等の市民の利用促進に向けた取組や公共施設への導入推進など順調な進捗が見られる半面、グリーンツーリズム・アグリツーリズムの展開やまちの探訪モデルコースを活用したツアーの開催など取組みながらも、まちの活性化と知名度アップにつなげるために事業内容や周知方法など、今後の課題が残る事業もある。また、エコファーマーの推進やバイオマス利用の拡大においては、各事業を取り巻く状況等を十分に勘案しながら取り組んでいく必要がある。道の駅整備基本計画や牛久沼周辺整備基本構想の策定、龍ヶ崎ブランドアクションプランの策定、ブランド農産品認定制度の構築、企業支援策である企業立地促進条例の制定などは、枠組みの構築を完了したことで、今後、進めていく具体的な取組が重要となる。
【優先プロジェクト 取組状況】
◎グリーンツーリズム・アグリツーリズムの展開
具体的ツアーの企画立案が進まず、当初の実施行程よりツアー開始時期が遅れたが、平成27年度に市民提案型協働事業として採択されたNPO法人による事業を支援(講演会及びワークショップの共催・農業宿泊体験開催の支援)し、平成28年度にはまちづくり・文化財団や企業と連携した新たな事業を実施したが、市外からの参加促進の課題が残る。
◎自然エネルギーの利用促進
一般家庭の太陽光発電システムや高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズ・エネファーム等)の導入助成を行い、意識啓発・利用促進を図るとともに、市自ら公共施設(市本庁舎・たつのごアリーナ・馴染コミュニティセンター・城西中学校)への太陽光発電システム及び蓄電池施設を導入した。

3. 行政経営評価委員会の主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・まちの探訪モデルコースを設定しスタンプラリーを実施しているが、参加者数が少なかったことは淋しい結果である。今後の取組において改善を図り、取組を拡大してほしい。 ・流经大生向け学割サービスの拡大において、協力店舗数を目標値として設定しているが、成果に関する指標に示されている「1店舗平均利用実績」のほうが目標準とするに相応しい。この利用実績は順調に数値を伸ばしてきており、進捗評価として「順調」としてよいと感じる。また、協力店舗についても、市内の店舗数や事業への協力が難しいフランチャイズ・チェーン店などを考えたとき、決して少なくない協力店舗数だと感じる。 ・ごみ減量の推進に関する数値目標である「市民1人が1日に出すゴミの量」は、近隣自治体の状況を把握し表示することが望ましい。 ・街をきれいにする取組目録としてクリーンプロジェクト以外にも、市内企業や団体の清掃活動などが広がってきている。市内一斉清掃に限らずに、それらの取組も記載してよいのではないか。

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	3 まちの活性化と知名度アップ
まちづくり宣言（基本目標）	6 地域の力を活かした、地域が輝くまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	一人ひとりが、龍ヶ崎が持つ魅力や資源を認識し、愛着と誇りを持って全国に発信・PRしています。

1 総括評価

進捗状況評価	B	評価コメント
		道の駅整備基本計画や佐貫駅周辺整備基本構想の策定、構想に基づく事業等を第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランに位置付けるなど、道の駅の設置、牛久沼の有効活用に向けた取組が概ね順調に進捗している。また、子育て環境日本一をPRするサイトの立ち上げなど「暮らしブランド」に重点を置いた、本市の認知度・イメージ向上のための新たな情報発信・PRの取組が進められている。
	今後の方向性（改善策）	外部団体や企業と連携したグリーンツーリズム事業の実施や市観光協会と連携した観光モデルコースマップの作製、当該コースを活用したスタンプラリー事業を実施したが、市内外に向けた当市の魅力発信のために周知・PR方法の工夫や地域おこし協力隊の活用を進める必要がある。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
優先プロジェクト グリーンツーリズム・アグリツーリズムの展開 【農業政策課】 ※成果報告書 進捗管理シートP35参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	外部団体と連携したレンコン収穫体験や企業イベント内での地元産生花を使った花飾りづくり体験等のグリーンツーリズム事業を実施し、市広報紙等での周知に加え、市外居住者に向けた周知PRも行った。今後は、地域おこし協力隊を活用しながら、市外からも参加しやすい魅力的なメニューや周知PR方法を工夫し取り組んでいく。
道の駅の設置 【道の駅プロジェクト課】 ※成果報告書 進捗管理シートP36参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	道の駅整備の基本的な考え方となる基本計画策定と関連調査を完了させた。この計画に基づいて設計業務に着手していくが、護岸調査の結果、改修工事が必要となり、今後の工事の状況によっては事業計画を再検討する必要が出てきた。
牛久沼の有効活用 【都市計画課・商工観光課・企画課】 ※成果報告書 進捗管理シートP37参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市観光物産協会と連携し、牛久沼水辺公園にて龍ヶ崎とび風あげ大会を開催。また、佐貫駅周辺地域整備基本構想を策定し、構想に基づく事業等を第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン及び都市計画マスタープラン2017に位置付けた。これらで示す牛久沼周辺地域活用の考え方も踏まえつつ、周辺自治体と連携しながら有効活用に向けて協議を進めていく。
まちの探訪モデルコースの設定 【商工観光課】 ※成果報告書 進捗管理シートP38参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市公式ホームページや市関連施設、各種イベントで配布するなど、観光モデルコースマップの周知PRに努めている。当該マップは好評であり、8,000部を増刷したところである。また、このコースを利用して、開催日を1日に限定せず、複数日にわたって参加できる約20日間を開催期間としたスタンプラリーを実施した。
フィルムコミッションの推進 【シティセールス課】 ※成果報告書 進捗管理シートP39参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	撮影支援体制の充実を図るため、市公式ホームページ上での制作会社向けの案内を適宜改善し、円滑な撮影支援を行っている。また、Facebook、TwitterなどのSNSを通じて、フィルムコミッションの活動を市内外に向けて、積極的かつ継続的に情報発信を行った。
龍ヶ崎ブランドアクションプランの策定・実行 【シティセールス課】 ※成果報告書 進捗管理シートP40参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	本市の認知度・イメージ向上のため、広告会社とシティプロモーション支援業務委託を契約し、業務を開始した。まずは、子育て環境日本一をPRするサイトの立ち上げなど、「暮らしブランド」に重点を置いた取り組みを実施している。また、遅れている各種組織設立については、関係各課・団体との協議・調整が必要である。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値、推移、他自治体比較など
サイト（全体）へのアクセス数・セッション数	【PRサイト「子育てたつのこアクション」】 アクセス数：20,568件 セッション数：4,038件 （平成28年12月11日～平成29年3月31日）
フィルムコミッション撮影件数（件）	平成24～28年度合計 99件

4 数値目標の達成状況

(1) 見どころ・楽しみどころの発掘など観光の振興に満足している市民の割合(%)【商工観光課】						
☆	ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	11.6⇒16.6	—	—	13.9	—	11.9
	現状評価	現状分析と改善策				
	<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	龍ヶ崎市観光物産協会等と連携して、牛久沼水辺公園を活用した龍ヶ崎とんび凧あげ大会を開催した。また、同協会で作成した新たな観光マップ(まちの探検モデルコース)のスタンプラリーを実施した。しかしながら、目標値に達しなかったため、新たな観光PRの施策を検討したい。				
(2) 市の良いところ、好きなところとして「豊かな自然がある」と回答した市民の割合(%)【都市計画課】						
☆	ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	55.1⇒60.1	—	—	49.6	—	57.7
	現状評価	現状分析と改善策				
	<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	牛久沼水辺公園やふるさとふれあい公園等においてイベントを開催するなど、本市の特徴的な自然環境と触れ合う機会の創出に努めてきたことや、都市計画法等の適正な運用、太陽光発電設備の立地適正化の取組などにより、自然環境の保全に努めてきたことが数値の上昇につながったと思われる。				
(3) 市の良いところ、好きなところとして「歴史と伝統がある」と回答した市民の割合(%)【生涯学習課】						
☆	ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	15.1⇒20.1	—	—	11.2	—	11.5
	現状評価	現状分析と改善策				
	<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	新たに市指定文化財2件を指定、市民遺産2件を認定し、市広報紙等で市民に周知した。また、前年度に指定した指定文化財及び認定した市民遺産等4か所に説明板を設置した。説明板には読み仮名を付けた文章や写真等を掲載し、小学生でも読めるよう配慮した。今後は、これらを活用した歴史散歩コースを設定し、周知に努める。				
(4) フィルムコミッション撮影件数(件)【シティセールス課】						
☆	ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	12⇒20⇒29	15	19	29	25	11
	現状評価	現状分析と改善策				
	<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	継続した撮影支援及び周知活動により、多くの制作会社から、撮影(ロケ地)の相談や問合せがあったが、作品の内容や条件などで合意に至らず、平成28年度にあっては、大幅に撮影件数が減少した。今後は、撮影支援体制をさらに強化し、知名度アップやシビックプライドの醸成に繋がるような作品の撮影誘致に務める。				
(5) まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合(%)【市民協働課】						
☆	ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	20.0⇒25.0	—	—	24.7	—	23.0
	現状評価	現状分析と改善策				
	<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	中核的な地域コミュニティの設立による活発な地域活動や「まちづくりポイント制度」申請数やシールの配布枚数の増加からも、市民活動の裾野は着実に広がっていると思われる。また、かたらい広場や懇談会の開催、附属機関等委員の一般公募などに積極的に取り組んでおり、様々なかたちで市民のまちづくりへの参加機会・参加者とも増えてきている。それらを積極的に周知PRし、更なる拡充を図っていく必要がある。				

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又、当該年度末までの累積による実績値。

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	3 まちの活性化と知名度アップ
まちづくり宣言（基本目標）	7 元気を生み出す活力ある産業が育つまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	地域産業が活性化し、そこに雇用が生まれ、市民の元気とまち全体の元気につながっています。

1 総括評価

進捗状況評価	B	評価コメント
		龍ヶ崎ブランド農産品2品目の周知PRや農産品直売の場の拡大、農業体験事業の展開などの取組は、PRにおいて新たな手法を取り入れる等、概ね順調に進んでいる。新たなブランド農産品の発掘や第6次産業推進の取組についても、生産者の支援に努め、一部商品化がされるなどの成果を生んでいる。
		今後の方向性（改善策）
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	農業従事者の高齢化や大規模農家化の推進などの影響により、難しい状況であるエコファーマーの推進に関して、見直しも含め今後の取組を検討していく必要がある。若手農業者の研究会を立ち上げるなど、新たなブランド農産品の発掘に向けて取り組んでいく。新たな商業拠点の形成に向けた土地所有者の合意形成や事業者の確保等の検討、企業誘致推進のための用地確保の検討を進めていく。

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
農産品の龍ヶ崎ブランド認定制度の構築 【農業政策課】 ※成果報告書 進行管理シートP41参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市内スーパーやシティホテル料理部門等への働きかけや各種イベント参加など様々な方法で、ブランド農産物に認定した特別栽培米とファーストトマトのPRに努めた。今後もメディアを活用したPR等によりブランド強化を目指す。また、若手農業者の研究会立ち上げなど進め新たなブランド農産物の発掘に努める。
エコファーマーの推進 【農業政策課】 ※成果報告書 進行管理シートP42参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要	農家訪問等により、エコファーマー技術や取得のメリット等を説明するなど、エコファーマー認定を満了する農家の更新及び新規就農者や未取得者の新規取得を勧奨に努め、勧奨世帯の更新・新規取得を得たが、農業従事者の高齢化や離農等により、エコファーマー取得農家数を増加させることは難しい状況にある。
直売の場の拡大 【農業政策課】 ※成果報告書 進行管理シートP43参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	毎月第3日曜日の日曜朝市や第2土曜日のたつこのマルシェ、第1日曜日のまいんバザールのなど市内イベントにおいて、前年比約1.5倍となる37回の農産物直売の機会を提供した。また、これら直売イベント等の集客拡大のため、市広報紙への掲載のほか新聞折込によるチラシ配布等の周知を行った。
農業体験の拡大 【農業政策課】 ※成果報告書 進行管理シートP44参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	農業体験を通じた食育推進事業の一環として、保育園児を対象とした「いちごの収穫」と小学生を対象とした「大根の種蒔・収穫作業」を開催した。今後も継続して農業体験事業を実施していく。
新たな商業拠点の形成 【都市計画課】 ※成果報告書 進行管理シートP45参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	新都市拠点開発エリア事業化調査を完了し、懸案となっていた事業手法については、実現可能な手法として土地区画整理事業を選択し、早期実現を目指していく。土地所有者の合意形成や事業者の確保、市の費用負担等の整理が今後の課題である。
企業誘致の推進 【都市計画課・商工観光課】 ※成果報告書 進行管理シートP46参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市街化調整区域における地区計画制度の活用を視野に用地確保の検討を行っているが、実現に向けては、土地利用の確実性を高めるための企業側の進出確定の担保付けが課題である。また、企業誘致関係の市役所窓口のワンストップ化や市内への企業立地を促進する企業向けパンフレットの配布など雇用の場を創出する取組を進めた。
既存企業の支援 【商工観光課】 ※成果報告書 進行管理シートP47参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	つくばの里工業団地運営協議会を通じて企業と市長の意見交換を行うほか、各企業へ奨励金制度の説明を行った。また、中小企業事業資金融資あっ旋制度に関する商工会会報誌への掲載や市役所窓口でのパンフレット配布等を行うとともに、市公式ホームページへの同制度や市内雇用情報の掲載など、制度利用と雇用の促進に努めた。
起業支援 【商工観光課・農業政策課】 ※成果報告書 進行管理シートP48参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	龍ヶ崎市コミュニティビジネス支援補助金制度の申請はあったものの申請取り下げがなされ、結果的に平成28年度の制度利用はなく、制度開始以降4年間で計3団体の利用となった。6次産業化の取組として一部商品化がされるなどの成果も現れ始めたが、今後も両制度の理解促進及び意欲ある起業家・農業者の発掘が課題である。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値, 推移, 他自治体比較など
特別栽培米作付面積 (ha)	龍ヶ崎市: 169ha (つくば市 334ha/つくばみらい市 203ha/土浦 72ha/石岡市 70ha/ 取手市 22ha/阿見町 18.8ha/守谷市 12.2ha/牛久市 8.9ha)
エコファーマー認定数	龍ヶ崎市 68 (平成 22 年度・ベース値) → 63 (平成 28 年度) (つくば市 478/石岡市 456/土浦 139/つくばみらい市 127/阿見町 63/牛久市 57/守谷市 27/取手市 21)

4 数値目標の達成状況

(1) 農業後継者の育成など農業の振興に満足している市民の割合 (%) 【農業政策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
5.8⇒10.8	—	—	6.1	—	7.8	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成 (新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	新規就農者への支援を行うとともに、ふるさと龍ヶ崎ブランド農産物認定制度を創設するなど、新たな取組を推進したが目標達成には至らなかった。今後は、就農者の高齢化が進行するため、市独自新たな支援制度の構築について検討するとともに、当市の農業振興に関する情報を積極的に発信する必要がある。					
(2) 龍ヶ崎市の良いところ、好きなところとして「買い物などの日常生活が便利である」と回答した市民の割合 (%) 【商工観光課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
30.8⇒35.8	—	—	37.3	—	34.1	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成 (新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	当市には、大きな市街地が4箇所（龍ヶ崎地区、佐貫地区、北竜台地区、龍ヶ岡地区）あり、各市街地に合った生活スタイルや買い物弱者等の更なる利便性向上に寄与する商業環境が必要であると考えられる。					
(3) エコファーマー取得者数 (人) 【農業政策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
68⇒100	70	70	65	68	63	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成 (新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要	関係機関と連携しながら周知を行い、エコファーマー取得者の更新は行っているが、農業従事者の高齢化傾向にあることから、新規でのエコファーマー取得者数を増やすには、厳しい状況となっている					
(4) 農産物直売イベント等開催数 (回) 【農業政策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
15⇒25	18	25	25	25	37	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 (新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	「日曜朝市やさい村」開催や「たつのごマルシェ」出店による、定期的な農産物直売の機会を提供した。開催イベントの常態化による集客数の減少に対する対策、出店農家の増幅策を検討する必要がある。					
(5) 特別栽培米作付面積 (ha) 【農業政策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
71⇒100⇒106	92	95	106	90	169	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成 (新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	大規模営農者の特別栽培米作付け面積の大幅拡大により、平成 27 年度までに比べ大きく拡大し、169.0ha の作付認証を受ける結果となったが、就農者の高齢化傾向などを要因として、新たな作付け面積拡大が厳しい状況にあることは変わらないといえる。					

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又、当該年度末までの累積による実績値。

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	3 まちの活性化と知名度のアップ
まちづくり宣言（基本目標）	8 大学のあるまちのメリットを活かした特色あるまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	市民が大学を身近に感じ、大学（学生）との活発な交流が展開され、まちと大学の活性化につながっています。

1 総括評価

進捗状況評価	B	評価コメント
		市内小中学校での救命救急講習などを含む、連携事業の中心的事業といえるボランティア学生小中学校派遣事業は協力学生数が年々増加し、活動の幅が広がるなど順調に進捗している。市民大学講座の開催や運動部のバックアップの取組等は、参加者数は天候等の影響を受けるものの、参加者の好評を得ている。学割サービスについては、学生ニーズを考慮した協力店募集、積極的周知PRが、利用実績増加につながっている。
		今後の方向性（改善策）
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	3か年計画で開始した国際観光学科と連携した観光プログラム開発は、市内外の状況調査・現地視察の結果やそれらをまとめた活動報告書を、2年目以降の取組に活かしていく。流经大生の地元雇用促進には、市内の幅広い職種・企業を対象に見据え、学生の地元企業に対する理解を深め、また、様々な連携事業等を通じて龍ヶ崎に対するシビックプライドを育むことが肝要である。

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
龍・流連携事業に関する情報の発信【企画課】 ※平成24年度完了事業	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市公式ホームページ内の龍・流連携公式サイトやSNS、龍・流連携掲示板を活用し、定期的かつタイムリーな情報発信を継続して行っている。また、新たに佐貫駅前電子掲示板を活用した情報発信も開始した。今後も認知度向上に向けて、様々なツールを活用して、より多くの人に伝えられる工夫に努めていく。
市民大学講座の充実【企画課】 ※成果報告書 進行管理シートP49参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	既存講座として英会話講座を2講座、ウォーキング講座を2種4講座実施した。秋の公開講座では、「子育て環境日本一！」を目指す取組の一つとして、親子をテーマに親子参加型の講座を新たに実施した。今後も、人気講座を継続実施しながら、新規講座の実施においては市民ニーズや大学の意向等を考慮し検討していく。
大学運動部のバックアップ【企画課・スポーツ推進課】 ※成果報告書 進行管理シートP50参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	各運動部の試合情報等について、インターネットを中心に様々な媒体を活用した情報発信に努め、市内外に広く周知することができた。また、応援ツアーの開催や市運動施設での公式戦開催により、市民がスポーツに触れる機会を提供できた。今後も引き続き、大学と連携しながら積極的な情報提供やイベント開催に努めていく。
学生割引サービスの拡大【企画課】 ※成果報告書 進行管理シートP51参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市公式ホームページ等への記事掲載やポスター掲示など、学割サービスの周知・利用促進に努め、4店舗の新規協力を得たが、廃業による協力解除が1店舗あったため、3店舗増となった。1店舗平均利用実績は増加傾向にあり、今後も積極的に制度やサービス協力店の周知・利用促進に努めていく。
大学国際観光学科との連携【シティセールス課】 ※成果報告書 進行管理シートP52参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	事業開始1年目である平成28年度は、学生が龍ヶ崎を知る機会とし、学生自身が市内の様々な場所に出向き、龍ヶ崎の魅力や面白いと感じたところを学生目線で探した。また、「体験型観光プログラム」の参考となる他市町村での取り組みについて、調査および現地視察を行い、今年度の事業活動報告会を実施した。
保育分野での連携【こども課・生涯学習課】 ※成果報告書 進行管理シートP53参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	保育ルーム児童と学生の異年齢交流活動については、ボランティア学生の学習補助などを通じて交流を図ってきているが、更なる拡充に向けた取組が望まれるところである。また、八原保育所においては、学生による運動プログラムの実施や保育嘱託員（残留保育対応）の任用による連携を図った。
企業等との連携体制の構築【企画課】 ※成果報告書 進行管理シートP54参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	若者向け市内求人情報を発信するため、定期的にいばらき県南若者サポートステーションと連携した就職相談会を実施。新たに開始した保育士等修学資金貸付事業は、流经大生に向けた周知方法等を検討する必要がある。流经大生を地元雇用につなげるには、学生の地元企業に対する理解を深め、龍ヶ崎に対するシビックプライドを育むことが肝要である。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値, 推移, 他自治体比較など		
小中学校ボランティア学生派遣事業に参加した人数	H23年度: 61人 H26年度: 173人	H24年度: 95人 H27年度: 220人	H25年度: 111人 H28年度: 277人
市民大学講座の受講者数	H23年度: 128人 H26年度: 137人	H24年度: 171人 H27年度: 103人	H25年度: 72人 H28年度: 140人
学生割引サービス1店舗平均利用実績	H26年度 実績回答店舗数: 21店・利用実績: 計 1,159件・平均 55件 H27年度 実績回答店舗数: 30店・利用実績: 計 5,948件・平均 198件 H28年度 実績回答店舗数: 48店・利用実績: 計 10,563件・平均 220件		

4 数値目標の達成状況

(1) 市民の龍・流連携の認知度 (%) 【企画課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
38.8⇒43.8	—	—	41.1	—	36.9	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市公式ホームページへの掲載をはじめ、龍・流連携掲示板やSNSを活用し、定期的かつタイムリーな情報発信に努めているが、若い世代の認知度が低いことから、目標達成に至っていない。佐貴駅前に設置したデジタルサイネージを始めとする様々な発信方法を最大限活用し、一層の周知を図っていく。					
(2) 龍・流連携事業や大学のイベント, スポーツ応援, 公開講座等に参加したことがある市民の割合 (%) 【企画課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
14.0⇒19.0	—	—	16.0	—	13.2	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	「関心はあるが参加したことはない」とする方が4割いることから、興味・関心を高め、楽しく参加できるようなイベントや講座を検討するとともに、地域の大学をより身近に愛着を感じられ、大学との連携が見えるように情報発信の内容及び方法の工夫・検討が必要である。					
(3) 学生の龍・流連携の認知度 (%) 【企画課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
19.5⇒25.0	—	25.8	—	—	—	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	学生ニーズに配慮した学割サービス協力店追加や若者の利用頻度の高いツイッターを中心としたによる情報発信などに努めた。また、ボランティア学生派遣事業の拡大の影響もあり、学生の認知度は上がっていると思われるが、卒業などに伴う定期的な学生の入れ替わりもあり、継続した取組が必要である。					
(4) 小中学校ボランティア派遣事業に参加した学生数 (人) 【企画課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
44⇒70⇒180⇒220	95	111	173	220	277	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	担当者打ち合わせや半期毎の事前ガイダンスの実施、大学側のボランティア学生派遣事業主任教員設置、学生の小中学校への移動手段確保策として公共交通チケットの助成開始など、関係者の理解促進の取組や運営体制を整備してきたことで、年を追う毎により活発かつスムーズな事業となっている。					
(5) 学生割引サービス協力店数 (店) 【企画課】						
★ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
56⇒80	61	64	64	67	70	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	協力店募集に努め、新たに4店の協力を得たものの廃業店もあり、目標達成には至っていない。しかし、周知PR方法の工夫や学生のニーズを意識した店舗への協力依頼などに努めたことで、学割サービスの利用実績数は増加した。今後も協力店拡充とサービス利用促進のための周知PRを工夫検討していく。					

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又、当該年度末までの累積による実績値。

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

重点戦略	3 まちの活性化と知名度のアップ
まちづくり宣言（基本目標）	9 環境先進都市を目指したまちづくりを進めます。
宣言が目指すまちの姿	市民・事業者・行政が協力して、低炭素社会・循環型社会の構築のために積極的に取り組み、自然・人にやさしい「環境先進都市・龍ヶ崎」を実現しています。

1 総括評価

進捗状況評価	B	評価コメント
		自然エネルギーの利用促進やLED照明の普及への取組は、市民の利用を促進するとともに市自ら公共施設にて導入するなど概ね順調に進捗している。また、ごみの発出抑制・減量化、資源化の様々な取組を推進し、市民意識の醸成につながっていると思われる。しかし、それらの結果として生ごみの大幅減量につながっていない。
		今後の方向性（改善策）
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	環境先進都市を目指し、現行の取組を継続して展開していくとともに、先進都市の事例を参考にするなど、意識啓発等の取組を見直し、生ごみの減量につながるよう努めていく。BDF燃料使用によるCO2削減の目標値は達成しているが、バイオディーゼル燃料に拘らない、本市の今後の環境循環型社会について検討する必要がある。

2 主要事業の概要

主要事業名【担当課】	実施工程進捗状況	取組状況と事業推進上の課題
優先プロジェクト 自然エネルギーの利用促進 【資産管理課・環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP55参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	太陽光発電システム等の受付は12月上旬で終了し、予算執行率は100%となった。なお、既築住宅への高効率給湯器については、機器設置後の問合せが散見されるため更なる周知方法の検討が必要である。公共施設への太陽光発電システムの導入については、今後の買取価格の動向及び費用対効果を含めて検討が必要である。
高効率照明（LED）の普及促進【資産管理課・環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP56参照	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	イベントや市広報紙等を活用して、LED照明の普及促進及びPRを行った。市庁舎とコミュニティセンターの照明について、平成28年度からリース契約によるLED化を実施し、電気料金とCO2排出量を削減した。今後は、中学校の屋内運動場のLED化に向けて、年次的に整備できるように検討していく。
バイオマス利用の拡大【環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP57参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	龍ヶ崎市女性会の協力により廃食用油の回収に取り組み、牛久市と連携しながらBDF燃料使用によるCO2削減に努め一定の成果を得てきた。今後は、BDF燃料使用可能な車両確保が難しさを増すことからBDF燃料使用量の減少が予想されるが、リサイクル推進の観点から廃食用油の回収を継続しながら、本市に相応しい環境循環型社会の構築に努めていく。
生ごみ減量の推進【環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP58参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	生ごみ処理器購入補助や各種イベント、出前講座、市広報紙掲載などの啓発活動に努めているが、生ごみ減量のためには水切り・一絞りなど一定の負担（手間）がかかることから、ごみ減量の大切さを理解していても具体的な行動までには至らず、大幅な減量とならない状況である。引き続き啓発活動に努め、ごみ減量に関する意識を高めていく。
地域リサイクル事業の充実【環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP59参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市内3箇所資源物の回収を行い、ごみ減量キャンペーンやリサイクル推進の啓発活動を行うなど、市民のリサイクル意識は高まってきていると思われるが、民間事業所などによる資源物回収が進んでいるため、行政による資源物の回収量は減少傾向にある。今後も継続して、民間・行政を問わず資源物の推進に努めていく。
クリーンプロジェクト【環境対策課】 ※成果報告書 進行管理シートP60参照	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要	平成28年度の市内一斉清掃への市民の参加者数31,233人（前年度比-3,433人）、ごみの収集量29トン（前年度比-12トン）であり、天候の影響等を受け、参加者及びごみ回収量とも前年実績を下回った。今後も引き続き、市内一斉清掃のほか、環境美化等に対する啓発活動を行っていく。

3 取組状況や成果に関する指標

指標	実績値、推移、他自治体比較など
太陽光発電システム等補助交付者数	太陽光発電システム H25年度：125件 H26年度：115件 H27年度：95件 H28年度：92件 高効率給湯器 H25年度：130件 H26年度：139件 H27年度：152件 H28年度：162件
資源物回収量（トン） ※民間回収量は事業者への任意調査	行政回収量：H24：3,957/H25：3,957/H26：3,598/H27：3,506/H28：3,271 民間回収量：H24：662/H25：1,290/H26：3,085/H27：3,407

4 数値目標の達成状況

(1) ごみ収集サービスや資源リサイクルに満足している市民の割合 (%) 【環境対策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
74.1⇒79.1⇒79.5	—	—	79.5	—	76.2	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	平成28年度においては目標値に及ばなかったものの、ごみ収集サービスに関して多くの市民に満足いただいている状況である。資源リサイクルについては、引き続き、地区回収・集団回収・サンデーリサイクルなど資源化事業を実施していく。					
(2) 地域をきれいにする活動や公衆衛生に満足している市民の割合 (%) 【環境対策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
49.2⇒54.2⇒58.0	—	—	58.0	—	57.0	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	広報やSNSを活用して、年3回の市内一斉清掃をPRし、より多くの方の参加を促す。また、多くの市民が市内各地区を清掃する姿を見せることによって、ごみのポイ捨てや不法投棄の未然防止に資する。喫煙禁止区域(佐貫駅東口・西口広場及び竜ヶ崎駅)を中心に歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員によるパトロールや職員による不法投棄夜間パトロールを実施し、環境の保全に努める。					
(3) 市民一人が1日に出すごみの量(家庭系ごみ)(g) 【環境対策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
649⇒550	682	665	664	665	662	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	家庭から出されるごみ減量のためには、水切り・一絞りなど一定の負担(手間)が必要であることから、ごみ減量の大切さを理解していても具体的な行動にまでには至っていない状況である。引き続き啓発活動に努め、ごみ減量に関する意識を高めていく。					
(4) ごみの資源化率 (%) 【環境対策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
16.1⇒22.0	14.9	14.9	15.8	15.3	13.9	
現状評価	現状分析と改善策					
<input type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	市内3箇所資源物の回収を行い、ごみ減量キャンペーンやリサイクル推進についての啓発活動を行ってはいるものの、行政で実施している資源物の回収量が減少している一因として、民間事業所などによる取り組みが進んでいることが大きい。資源化については、民間・行政を問わず促進していきたい。					
(5) BDF 燃料使用によるCO2削減量(kg) 【環境対策課】						
☆ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
5,346⇒8,910	21,490	21,450	18,955	12,800	11,662	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	バイオディーゼル燃料を使用できる車両確保が難しいこと、バイオディーゼル燃料の主な提供元：龍ヶ崎市女性会からの提供が平成28年度末で終了すること、近年のハイブリットや電気・水素など環境負荷の低い燃料の普及等から、バイオディーゼル燃料に拘らず本市に相応しい環境循環型社会の構築に資する事業に見直す必要がある。					
(6) LEDを導入した主な公共施設数(件) 【資産管理課・環境対策課】						
★ ベース値と目標値	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	
1⇒6⇒14	2	6	9	13	24	
現状評価	現状分析と改善策					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成(新目標値設定) <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 見直しが必要	公共施設へのLED照明の導入にあたっては、計画的に入替作業を行っていることから、目標値を大きく上回っている。電気使用量及びCO2排出量の削減に向けて、今後も、計画的に順次、整備していく。					

※ ☆印の場合:各年度単位での目標値及び実績値。★印の場合:最終年度末の累計による目標値。又、当該年度末までの累積による実績値。